

# おおたけ市議会だより

OTAKE CITY 2017  
(平成29年)

5

No.189

## ～議会報告会を開催します～

平成29年5月、市内9ヶ所で議会報告会を開催します。議員が地域にお伺いして、議会活動を直接報告し、市民の皆さまとの意見交換を行います。多くの皆さまのご来場を心よりお待ちしております。  
日時等の詳細については、15ページに掲載しています。

- |                  |       |
|------------------|-------|
| ◆第1回定例会          | 2ページ  |
| ◆予算特別委員会         | 4ページ  |
| ◆審議結果表           | 9ページ  |
| ◆議会日誌            | 9ページ  |
| ◆一般質問            | 10ページ |
| ◆陳情/請願           | 14ページ |
| ◆6月議会日程          | 14ページ |
| ◆議会報告会のご案内       | 15ページ |
| ◆スマイルインタビュー・あとがき | 16ページ |

大竹市立玖波小学校

入学式

玖波小学校新校舎での入学式  
(平成29年4月7日)

# 第1回 定例会

## 総務文教委員会

### 主な審査内容

●大竹市農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定について

Q なぜ農業委員会等に関する法律を変えなければいけなかったのか、法律を変える目的について問う。

A 農地を効率よく集約、集積して耕作放棄地の発生を防止するためである。

Q 農地利用最適化推進委員にはどのような方がなるのか問う。

A 全国的に休耕する農地が増えるような状況の中で、耕作を放棄する土地がないようにするため、現場で農業をしている方から相談を受けながら、農地の維持についてどういう形で活動し守っていくのがよいかを考えられる方である。



●平成28年度大竹市一般会計補正予算(第5号)

解説

歳入歳出にそれぞれ6億1,628万2千円を追加するもの。

○主な内容

【歳入】

・ふるさと納税寄付金

3,500万円

・法人市民税

3,500万円

【歳出】

・(仮称)地域福祉会館整備事業

2億6,830万円

・ふるさと納税促進事業(役員費・積立金)

3,500万円

・介護施設整備等補助事業

▲3,448万円

Q (仮称)地域福祉会館整備の進捗状況について問う。

A 現在、実施設計を行っている段階で、建築確認申請業務を含め業務は6月末頃までかかる見込みとなっている。工事の着工時期は9月頃を予定している。

Q 養殖漁業技術開発支援について事業が最終年度となる。今後販路拡大が課題となると思うが現状について問う。



あたたハマチと(ど)レモン

A 市内、県内外でPRを重ねる中、かなりの範囲で「あたたハマチ」と「レモン」というブランドが確立してきたのではないかと考えている。

昨年の12月からはハマ金と称し、金曜日に市内の飲食店、魚屋でハマチを取り扱っていた。また毎月第3土曜日に開かれるおたけ水産GOGO市において、販売や試食等を実施している。その他広島市内や山口県の飲食店、複数のJAとも取り引きをいただいている。

Q 介護施設等整備費が減額となっている理由について問う。

A 第6期介護保険事業計画において、平成27年度から平成29年度の間、認知症グループホーム1ヶ所と小規模多機能型居宅介護1ヶ所を整備するにあたって補助金を準備していたが、認知症グループホームの事業者から施設整備の補助金を辞退すると申し出があったため、執行が必要なくなり減額となっている。



●その他の議案8件

※採決の結果、すべての議案が

原案のとおり可決



本会議で採決の結果

原案のとおり可決

第1回定例会は、平成29年3月2日～3月24日の23日間行われました。  
 詳細については、平成29年6月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、  
 市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページで録画中継もご覧いただけます。

## 生活環境委員会 主な審査内容

●大竹市犯罪被害者等支援条例の  
 制定について

**解説**  
 犯罪被害者等基本法の規定に  
 基づき、本市の犯罪被害者等の  
 支援に係る施策に関し、基本  
 的な事項を定めるため条例を制定  
 するもの。

**Q** 市はどのような体制で相談受付  
 対応を行うのか。また、市内には民  
 間の支援団体があるのか問う。

**A** まずは自治振興課で受付し、内  
 容に応じ民生委員・関係機関等と連  
 携し対応する。また、市内に民間の  
 支援団体はないが、県内に広島被害  
 者支援センターがあり、ここでは弁  
 護士への相談や、病院への付き添い  
 など、専門的な相談支援が受けられ  
 る。

**Q** 県内における制定状況について  
 また、どのような経緯、考え方の  
 もと制定をすることになったのか問  
 う。

**A** 県内では呉市、府中市に次いで  
 3番目。また、総合計画基本構想に  
 掲げる「よいまち」、「住みたい、住  
 んでよかったと感じるまち」の実現  
 に向け取り組み中、より市民の方が  
 安心して暮らせるまちとなるよう、  
 制定を行うものである。

●大竹市松ケ原こども館条例の一  
 部改正について

**解説**  
 大竹市松ケ原こども館の利用  
 機会を拡大させるため条例の一  
 部を改正するもの。

**Q** 開館日が週3日から週5日にふ  
 えたことにより、事業の内容が変  
 わっているのか問う。

**A** 事業内容自体は変わってはいな  
 いがイベントの回数は増えている。



松ケ原こども館

●平成28年度大竹市国民健康保険  
 特別会計補正予算(第3号)

**Q** 歳出において、特定健康診査等  
 の事業が減額補正となっているが、  
 利用促進の対策をどのように考えて  
 いるのか問う。

**A** ホームページ等の活用や、保健  
 師が戸別に訪問を行うなどして利用  
 の勧奨をしている。また、来年度か  
 らは、県が実施する「ひろしまヘル  
 スケアポイント」制度に、本市も参  
 加することを考えている。

**Q** 中学校等で、がん検診等につい  
 て啓発する授業などの機会が必要で  
 あると考えるが、取り組みについて  
 問う。

**A** 中学校におけるがん教育として  
 は、保健の授業を中心に取り組んで  
 おり、関連団体から講師を招いて行  
 うこともある。



●平成28年度大竹市港湾施設管理  
 受託特別会計補正予算(第1号)

**Q** 港湾利用が伸びたことによる県  
 納付金の増額に伴う補正であると思  
 うが、利用者からの要望などはどの  
 ように把握しているのか問う。

**A** 整備された当初に比べて利用形  
 態が変わってきていることもあり、  
 多様な要望が出ているが、短期的な  
 対応が難しいものが多い。そのよう  
 な状況を受け、昨年度から利用者、  
 県、市による意見交換会を行っている。

●その他の議案9件

※採決の結果、すべての議案が  
 原案のとおり可決



本会議で採決の結果  
 原案のとおり可決

# 予算特別委員会

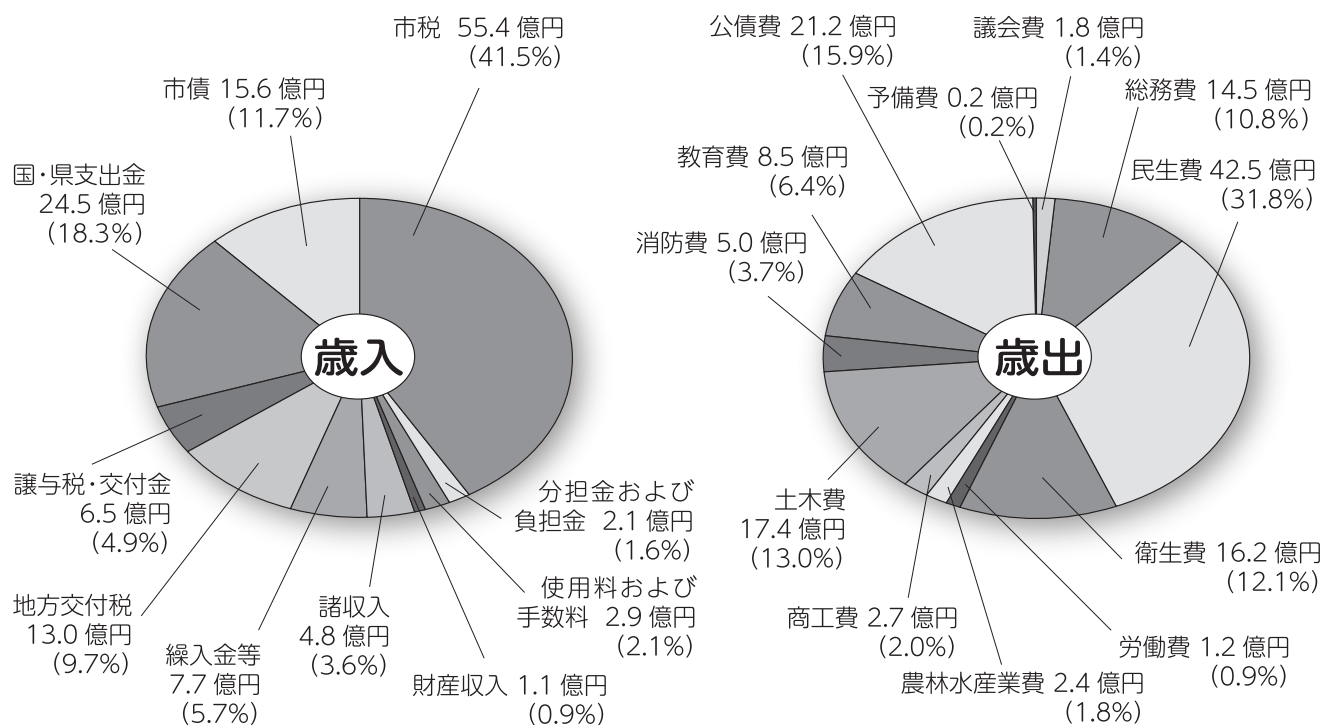
## 会計別予算額

一般会計	133億 5,761万円	
特別会計	国民健康保険	42億 8,033万円
	漁業集落排水	3,441万円
	農業集落排水	4,716万円
	港湾施設管理受託	5,205万円
	土地造成	3億 1,126万円
	介護保険	30億 3,558万円
	後期高齢者医療	4億 4,229万円
	小計	82億 308万円
企業会計	水道事業	7億 3,769万円
	工業用水道事業	10億 7,598万円
	公共下水道事業	16億 5,097万円
	小計	34億 6,464万円
総合計	250億 2,533万円	

3月定例会において提案された、平成 29 年度各会計予算は、4日間(3月 13 日～3月 16 日)にわたり予算特別委員会において慎重に審査した結果、総額 250億 2,533万円(企業会計を含む)の予算を可決しました。

平成 29 年度の主要事業と、審査における質疑及び答弁の一部をご紹介します。

## 一般会計当初予算内訳 (総額 133.6 億円)





# 主要事業の一部



**1億  
2,000万円**

**晴海臨海公園整備事業 (ファミリーゾーン遊具整備)**

平成 29 年度はファミリーゾーンに大型遊具などを整備し、レクリエーションの場を提供します。

**600万円**

**小方地区の  
まちづくり事業**

JR 新駅設置を前提に、遊休地となっている旧小方小・中学校や市民プールの跡地を活用して、将来にわたり活力ある「まちづくり」を進めます。

平成 29 年度は、「小方地区まちづくり基本構想」に基づいてゾーンを特定し活用策や運営方法を検討します。



**3,600万円**

**図書館改修事業 (昇降機整備)**

図書館利用者の環境整備のため、老朽化した昇降機(エレベーター)を更新します。



**4,200万円**

**放課後児童クラブ運営事業**

平成 29 年度からはすべての児童クラブで、高学年を含めた全学年の受け入れ態勢を整え、仕事と子育ての両立支援を充実します。

**2億  
2,200万円**

**再編交付金  
基金積立事業**

- にこにこ子ども基金  
保育環境の充実のため、集団保育を実施するうえで特に配慮を必要とする児童を支援する保育士を配置します。
- 健やか安心基金
  - ・妊婦乳幼児健康診査事業
  - ・妊産婦健康診査等支援事業
  - ・大腸がん検診自己負担額無料化事業など5事業を実施しています。
- 阿多田診療所基金  
平成 20 年度から阿多田診療所の運営補助事業を実施しています。



**1,700万円**

**ひろしま地産地消促進事業**

マロンの里を中心に、地域が一体となった野菜作りを行い、一定量の野菜を集めて給食センターへ出荷し地域産業(農業)の維持と地産地消を促進します。

予算特別委員会での  
質疑・答弁

●砂防事業に伴う  
白石墓地移転事業について

Q 移転場所等進捗状況を問う。

A 広島土砂災害の影響で、砂防堰堤の整備事業が停滞していたが、目途がたったため、大竹市で移転先の場所について近隣に選定し、地権者との協議や、およそ150基の墓地の所有者に対して意向調査を行った。

●無年金の方の  
救済対策について

Q 生活保護費の支給にあたる影響について問う。

A 影響について現時点では把握できていないが、県からも3月に通知が届くと連絡を受けており、年金台帳を作成していく中でしっかり把握し、収入認定をしていきたい。

●ふるさと納税促進事業  
について

Q 支払手数料等額が増えているが新たな取り組み、また、市民等への周知を考えているのか問う。

A 魅力のある返礼品の拡充を進めるため、新たな商品を掲載する予定としている。他の民間ポータル（インターネット）サイトへの掲載も検討し全国へ向けPRしていきたい。

●廿日市市との可燃ごみ広域処理事業の進捗状況について

Q 可燃ごみ広域処理事業の進捗状況について、大竹市の負担は持ち込むごみの量についても交渉事項に入るのか問う。

A 平成28年5月に廿日市市で設計・建設・運営を民間に委託し今年1月から、建設にとりかかっている。維持管理費についてはごみの搬入量・処理量によって負担額が決まるが、どこまで大竹市が負担するのかなど、大竹市の不利益とならないよう折衝している。

●迷惑電話への対策について

Q 迷惑電話防止装置設置業務委託料の事業概要、また、他市での実例を問う。

A 県の全額補助事業で、高齢者被害を防ぐため、迷惑電話をシャットアウトできる迷惑電話防止機器30台を目標に設置するモニター事業である。平成28年度には東広島市で、平成29年度は新たに熊野町でも実施予定になっている。



●米軍再編交付金について

Q 交付基準があるのか問う。

A 航空機の機種・機数によって算定基準があり交付金は決まるが、機数には幅があるため少し増えたからと言って交付金の額は変わらない。

●中小企業技能講習会受講料補助金について

Q 今後の見通しについて問う。

A 中小企業者の技術の継承を大手企業も望んでいる。民間の教習機関が実施する一定の技能訓練講習会受講料の2分の1を補助する。今後は、監督者、職長の教育についても考えていく。

●大竹駅周辺整備事業について

Q 整備範囲について、駅周辺は含むのか、また、既存の駅舎の活用方法の検討状況を問う。

A 当面は自由通路と駅舎、広場の整備を行う予定であり、周辺道路等の整備は含んでいない。形状変更に伴い、支障になるため現在の駅舎は撤去し、賑わいの場を創出できるよう新しい駅舎の前側に交流広場を設ける計画としている。



●自主防災組織について

Q 現在の組織率、また1月に大規模な総合防災訓練があつたが、その反省点を問う。

A 自主防災組織は35団体であり、世帯の組織率は63%である。

総合防災訓練は、関係機関が連携する初動訓練で、一定の成果があつたが、自らが参加するという意識で参加できる体制づくり、また、組織づくりが必要である。

●財政推計における収支状況の見込みについて

Q 今後の大型事業がどの程度組み込まれているか、また市税収入減の見通しについて問う。

A 主な事業は、御園市営住宅6号棟、可燃ごみ広域処理施設、大竹駅周辺整備事業などである。また、市税の減少理由は、大竹港の工業団地での設備投資以降減価償却が始まることによる固定資産税減が主要因である。

●地方債償還元金について

Q 大願寺造成事業に関係する返済はいつまで続くのか問う。

A 大願寺関係の自然公園分は平成57年度、土地造成特別会計への繰出金は平成32年度である。

●学校給食の食材納入について

Q 食材の納入にあたっての方針を問う。

A 適切な栄養供給を前提に、地産地消の考えのもと、市内生産、続いて県内産、国内産へと選んでいる。

また、鮮度がよいものであるよう毎日検収作業を行っている。加工食品はなるべく添加物がないものとしている。



大竹郷土料理の日の給食

●認知症サポーター育成について

Q 育成対象者やサポーター数等、計画や目標があるのか問う。

A 市内の銀行職員や、大竹高校の2年生等を対象に、毎年サポーター養成講座を開催している。今後は可能であれば商店等でも養成講座を開くよう委託先の法人と話をしていきたい。



認知症サポーター養成講座(大竹高校)

●国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療等の保険料について

Q 各事業の保険料が前年度と比べてどう変わる予定か問う。

A 国民健康保険は、予算ベースでは5%程度上がると予測している。介護保険、後期高齢者医療は所得が変わらない限り、平成28年度と29年度の保険料は同額である。

●総合事業による要支援1、2の皆さんへの措置について

Q 国の制度改正による今後の給付について市の考えを問う。

A 訪問介護、通所介護は総合事業に移行するが、大竹市ではこれまで通り利用出来る区分も設定しており、サービスが無くなることはない。様々なサービスが使えるようにしていきたい。

●小島潮遊池の現状について

Q 潮遊池は葦が茂り、雑木が生えている状態である。機能が損なわれないのか問う。

A 潮遊池は面積も広く簡単ではないが、ボトルネックの解消に努めていく中で維持管理をしていく。また来年度、各ポンプ場も含め、検証等していく予定である。

～委員会での討論～

【反対討論】

○「土地開発公社の問題など、行政や議会の責任もあり、反対せざるを得ない。」

○「国民健康保険特別会計は、国民健康保険を広域化し、県が決める標準的な保険料に市が合わせるということや、広域化により地域医療がよくなると思えない。」

【賛成討論】

○「予算全体として、第5次総合計画の重点項目を前進させ、大竹工業団地や小方ヶ丘団地からの税収の一部を繰り入れ、健全化を図る予算であると受け止め賛成である。」

○「国民健康保険や後期高齢者医療において、人口減少が進み、ますます高齢化が進む中、安心安全に暮らせるまちづくりを進めている。」

※委員会で採決の結果、

全会計ともが原案のとおり可決



～本会議での討論～

【反対討論】

○「違法公金支出損害賠償請求事件について上告の報告を受けました。現在も係争中であるとの理由で、一般会計、土地造成特会に反対。」

○「一般会計について、シルバー人材センターへの補助金支出のうち、社会福祉費・小学校費の予算書表記に疑問があり反対せざるを得ません。」

【賛成討論】

○「当時、市民も議会も土地が売れないことに危機感を持っていた。様々な議論の場で、早く売るよう多くの議員の発言や議論があった中で可決と受け止めている。」

○「約170にも及び問いに対する各担当職員の答弁に敬意を表し、市民の安全・安心に向け、前年よりは減額予算組みの中、職員の努力を認め賛成とします。」

本会議で採決の結果

全会計とも原案のとおり可決

予算特別委員

委員長  
副委員長  
委員

網谷芳孝  
賀屋幸治  
児玉朋也  
西村一啓  
日域雅子  
細川雅三  
山本孝三



政務活動費の公開について

平成27年度分(9月～3月の現議員分)政務活動費収支報告書を市ホームページで公開しています。

【大竹市HP→市議会のページ→政務活動費】

領収書については情報公開の手続きが必要となりますのでご了承ください。

詳しくは、大竹市議会事務局までお問い合わせください。



第1回市議会(定例会) 議案の審議結果表(主な議案)

議案など	児玉	末広	賀屋	北地	西村	和田	大井	網谷	藤井	山崎	日域	細川	寺岡	田中	山本	審議結果
	朋也	和基	幸治	範久	一啓	芳弘	涉	芳孝	馨	年一	究	雅子	公章	実穂	孝三	
議案第1号 平成29年度大竹市一般会計予算	—	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	○	●	原案可決
議案第2号 平成29年度大竹市国民健康保険特別会計予算	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第6号 平成29年度大竹市土地造成特別会計予算	—	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	○	●	原案可決
議案第7号 平成29年度大竹市介護保険特別会計予算	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第13号 大竹市犯罪被害者等支援条例の制定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第31号 平成28年度大竹市一般会計補正予算(第5号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成29年陳情第1号 市営住宅入居に際し、連帯保証人を求める制度の廃止を求める請願	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	不採択

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

—: 議長 ○: 賛成 ●: 反対

議会目録

2月~4月

- 2月 1日 全国市議会議長会基地協議会総会(東京都)
- 3日 全国高速道路市議会協議会総会(東京都)
- 8日 生活環境委員政策研究会
- 10日 市議会議員共済会第113回代議員会(東京都)
- 15日 基地周辺対策特別委員会
- 23日 議員全員協議会  
議会運営委員会  
広報広聴特別委員会
- 3月 2日 本会議  
総務文教委員会  
総務文教委員政策研究会
- 3日 生活環境委員会  
生活環境委員協議会  
生活環境委員政策研究会
- 6日 基地周辺対策特別委員会  
小方地域まちづくり対策特別委員会  
議会改革調査会

- 3月 8日 本会議
- 9日 本会議  
予算特別委員会
- 13日~16日 予算特別委員会
- 24日 議会運営委員会  
本会議  
議員全員協議会
- 28日 岩国基地に係る合同要望活動(東京都)
- 30日 広報広聴特別委員会  
基地周辺対策特別委員会
- 4月 4日 生活環境委員政策研究会
- 6日 総務文教委員政策研究会
- 10日 広報広聴特別委員会
- 13日 総務文教委員政策研究会  
基地周辺対策特別委員会
- 14日 広島県市議会議長会定例会
- 18日 広報広聴特別委員会  
生活環境委員政策研究会
- 24日 生活環境委員政策研究会
- 25日~26日 中国市議会議長会定期総会(鳥取市)



**山崎 年一**

- 「ふるさと納税」について
- 保育所行政について
- 「子どもの貧困」対策について
- 学校給食の無料化について

**末広 和基**

- 公共施設等総合管理計画の策定の意味、又、なぜ“今”なのか？固定資産台帳、新しい地方公会計への活用のあり方について
- 新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化について
- 人事評価制度の公正性・透明性の確保と制度の信頼性を高めるための取り組みについて。その中で、人事評価規定の“苦情”に対する規定の在り方とその問題点について

**賀屋 幸治**

- 水産業の振興と晴海県有地の活用について
- 耐震シエルター普及促進に向けた補助金制度の導入について

**西村 一啓**

- 中山間地域住民の安全で安心して暮らせる対応について
- 地域の高齢者・子供たちの安全対策等の地域活用について
- 高齢化社会の中で、障がい者のための施設設置について

**細川 雅子**

- 障がい者の地域生活支援拠点の整備について
- 大竹市総合計画後期基本計画における重点目標について

**山本 孝三**

- 国民健康保険事業の広域化について
- 介護保険事業について
- 核兵器禁止条約交渉・実現に向けて

**寺岡 公章**

- 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について

**答** 昨年8月に児童扶養手当受給者を対象にアンケートを行い、既存サービスに対するニーズを把握しています。

また、平成29年度には、広島県が子どもの生活に関する実態調査を行う予定であり、その分析結果や県の施策・事業の動向をふまえ、本市での取組を検討していきます。

**問** 現在、非正規労働者が4割で非正規労働者の拡大が子どもの貧困の原因といわれています。また、子育て世代には賃金の低下が子どもの貧困に影響し「貧困の連鎖が生み出される」といわれています。子どもの貧困の実態調査を行い子どもの貧困に総合的な支援策を検討すべきです。

子どもの貧困対策をしませんか



山崎 年一



**答** 岩国市の動向を注視し、無料化による効果や財源をふまえ判断する考えです。米軍再編に伴う安心・安全対策や地域振興策への財政支援については、再編完了後も含め、機会あるごとに国へ要望しています。

**問** 艦載機の移転を円滑に進めるために国は岩国市議会で学校給食無料化への支援を約束しました。

本市も、基地に隣接した自治体として等しく被害を受けます。国や防衛省に学校給食無料化の予算を要求されるよう求めます。

給食無料化で子育て支援を



末広 和基

公共施設等総合管理計画の策定の意味、また、なぜ「今」なのか？

**問** 固定資産台帳整備と公共施設等総合管理計画策定が完了の今、地方自治70年の中でなぜこの時期なのか、今後30年を想定しお答え下さい。

**答** 公共施設等の更新時期が集中し、全ての施設の更新費用を確保するのが困難な状況にあるためです。

新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化について

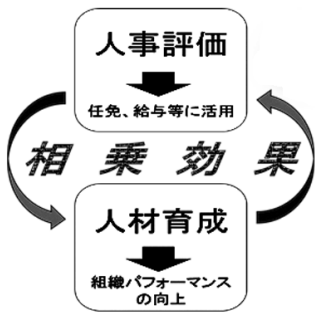
**問** 最終的には、人“で決まる、情報システムセキュリティに対する職員の皆さまの责任意识醸成とそれを支えるITスキル育成方策を聞きます。

**答** 行動を制限する仕組みにより意識を作っていきます。職員が互いに注意し合うことが重要と考えます。

人事評価制度の公正性・透明性の確保と制度の信頼性を高める取組みについて

**問** 最終評価開示後の思いや悩みへの対応はどうか。目標設定時や中間面談時期、業務を通しての信頼関係構築期間への考え方を伺います。

**答** 「人事評価の手引」には、幅広く苦情相談の対象とするよう記載しており評価全般の苦情相談が可能です。コミュニケーションをとりながら被評価者の納得性を高め、人材育成につながるよう取り組みます。



賀屋 幸治

水産業の振興と晴海県有地の活用について

**問** あたはハマチと（と）レモンは大竹市の特産品としてブランド化に成功しています。今後の課題として販路拡大や後継者の育成が懸念されます。

晴海県有地の緑地部分に水産物の直売所（お魚センター）を誘致することで水産業の振興と地域活性化が図れると思いが見解を伺います。

**答** 水産振興のため、PRなどにより引き続き支援していきます。

水産物直売所の誘致を県へ相談・提案するためには、具体的な事業フレーム・事業設計が必要であり、現段階では困難ですが、ビジネスとして成立するのであれば地域の活性化にもつながると考えます。阿多田島漁協、くば漁協、民間事業者などが

ら具体的な話があれば、どのような支援ができるか検討していきます。

耐震シェルター普及促進に向けた補助金制度の導入について

**問** 地震により倒壊の恐れのある家屋住民の生命・身体を守るために安価で容易に設置できる耐震シェルターがあります。この普及促進に向けて新たに補助金制度を導入することを提案します。

**答** 平成29年度から導入予定の広島市の状況や先進地の例を参考に、住民ニーズや財政状況を勘案しながら検討していきます。



このタイプは約20万円で購入できます



西村 一啓

中山間地域住民の安全で安心して暮らせる対応について

**問** 中山間地域周辺の山林開発で建設残土等が搬入され、地下水の水質汚染が懸念されている。近隣市と連携して開発情報を共有し、検査等の管理・指導ができないか。

また一人暮らしの高齢者の生活支援として、各家庭で負担が重い浄化槽更新費用の負担軽減や、通院等のため地域交通等の利便性が向上する日常生活支援はできないか問う。

**答** 開発地の行政管轄区域を問わず、市民の安心・安全の確保に向け、県や近隣市と連携して取り組みます。浄化槽設備の維持管理費の実態を調査し、県内自治体の状況を参考に負担の公平性を検討します。谷和・広原地区では乗合タクシーの運行を補助しており、昨年4月に変更した

大竹・栗谷線バスの運行結果を検証し日常生活の維持に努めます。

高齢化社会の中で、障がい者のための施設設置について

**問** 安全に見守ってくれている両親が高齢化しても、障がい者が将来個々で生活できるための安心で安全な施設の設置、また、さつき作業所の移転先や代替案について問う。

**答** 障がい者と高齢者の複合施設の早期整備は難しい状況です。将来にわたり地域で生活するために何が必要か、さつき作業所の在り方を含め社会福祉協議会と検討しています。



【その他の質問】

○地域の高齢者・子供たちの安全対策等の地域活用について問う。



細川 雅子

障がい者の地域生活拠点整備について

**問** 地域生活支援拠点は、障がい者の重度化・高齢化や、「親なき後」を見据えて、居住支援のために必要な機能を備えたものです。平成29年度までに整備する目標で計画を進めてきました。

① 本市の資源の洗い出し、当事者や関係団体などのニーズ把握について。

② 優先的に整備が必要な事業は何か、さらに整備の方法について。

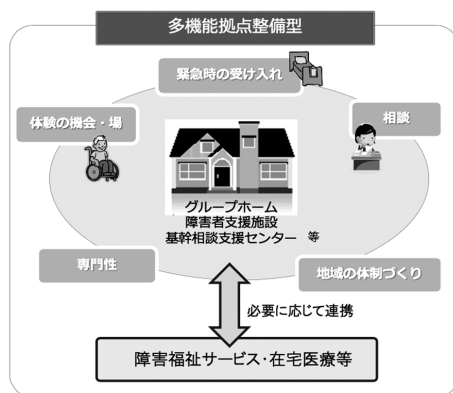
③ 平成29年度の具体的な取組について。

以上お尋ねします。

**答** ①大竹市自立支援協議会の各部署の意見をふまえながら、本市の現状にに応じて必要な資源を順次整備していきたいと考えています。

②親御さんは、自分たち亡き後の子どもの生活の場であるグループホームを望まれています。グループホームに慣れること、親元から離れる訓練のほか、ショートステイの施設も必要と思いますが、相談業務の整備が一番必要と考えています。

③グループホームなどを運営できる社会福祉法人が、本市に来てもらうためのアクションを起こしたいと考えています。



厚生労働省HPより

【その他の質問】

大竹市総合計画後期基本計画における重点目標から

① 地域包括ケアシステム構築について

② リニューアル後の市ホームページの評価について



山本 孝三

国民健康保険事業の  
広域化について

**問** 近く、国保事業が広島県単位とされ、市町村事業が広域化されます。

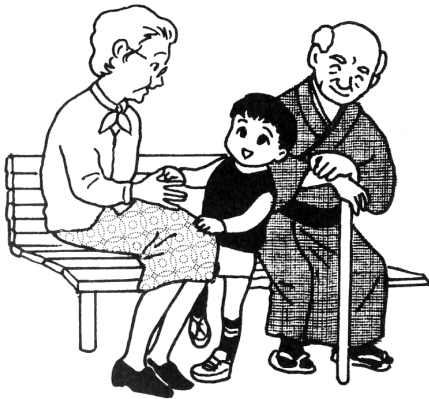
県内23の市町の国保事業は、国保料の徴収率・給付・サービスの違いなどがありますが、その調整はどうされるのですか。

**答** 広島県における市町納付金や標準保険料率の算定ルール、市町間における国保事業の格差等について、県と各市町が協議を行い、広島県国保運営方針を策定します。その後、県知事の諮問機関である広島県国民健康保険運営協議会で、国保運営に関する重要事項として審議します。

介護保険事業について

**問** 毎年のように介護の給付負担が変わり、介護を必要とする人や介護に苦労されているみなさんの心配の声が絶えません。保険料はさらに高く給付サービスの後退にならないよう、介護保険事業の策定にどう取り組みますか。

**答** 現在、第7期介護保険事業計画の策定に向けた介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施しています。被保険者の意見や要望をひまえ、保険料水準とのバランスを考慮しながら、高齢者が抱える不安が払拭されるよう、計画的にサービス事業所を整備していきます。



出会い〜子育てに至る  
連続性の認識について



寺岡 公章

連続性の認識について

**問** 平成29年度予算案をはじめ、本市の方向性や目標には「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」という文言が散見されます。この時間軸には男女の出会いや妊活も加えられる事でしょう。それらも含めた若い世代が過ごす一連の流れにおいて、連続した各施策のプログラムをどう捉えれば、教育目標の達成や目指す子供像の育成につながるのか、そのメカニズムをうかがいます。

また、各計画立案をする上で、合計特殊出生率に限らない、あらゆる角度から出された指標を参考にすることが、今後の子育て支援策の精度を高めることにつながるかと考えますがいかがでしょうか。

**答** 教育長 教育の観点での結婚・出産・子育ては、乳幼児期から少年期、青年期への連続した子育てや教育活動が大切です。一人でも多くの子どもや親を支えられるよう学校教育、家庭教育、社会教育をさらに充実し、「笑顔・元氣」輝く大竹っ子、自分の力で人生を生き抜くたくましい大竹っ子を育成していきます。

市長 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」は、大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の1つです。総合戦略には、成果を検証する評価指標を設けており、より良い評価指標があれば、見直しや新たな追加も必要です。検証作業を繰り返し、事業内容をより良いものへと改善し、「よいまち」の実現に向けて取り組んでいきます。



区切りの一つ 卒業式

# 陳 情 ・ 請 願

陳情書名 陳情提出者	要 旨	○付託委員会 ●委員会の討論 【委員会の結果】	【本会議の結果】
小方小学校移転跡地に 「公園」設置陳情  小方一丁目南自治会 会長 飯森 仁志 ほか2団体	①地区自治会の各種イベントが出来る広場であること ②幼児～高齢者までが利用できる広場であること ③小方小学校跡地としてのモニユメントを設置すること ④災害対策本部が設置された際の第2次避難場所の新規指定	●小方地域まちづくり対策特別委員会 ○「まちづくり構想ができ、今後ゾーンごとに検討していくべきである。」  【継続審査】	【継続審査】
港町ポンプ場の移転までにおける対応についての陳情  港町一丁目自治会 会長 小幡 哲雄	今秋オープンの株式会社コメリの開店後について、車の渋滞が予想される。については、当自治会の案であるが、港町ポンプ場が移転すると渋滞は大分緩和されると思う。平成24年開催の地区懇談会の時に移転は岩国大竹道路の工事と合わせてになるとの土木課の回答であったが、大林組の敷地側を広くして、車の通り抜けを検討するとの話もあった。現在、大林組はここを使っていないので、応急的に検討して頂きたい。	●生活環境委員会 ○「懸念していたほど渋滞もなく、市からポンプ場移設についても丁寧な説明を受けているため、委員会には間に合わなかったが陳情者から取り下げの意思があると聞いている。」  【継続審査】	【取り下げ】
市営住宅入居に際し、連帯保証人を求める制度の廃止を求める請願  大竹市御園二丁目3番3-203号 宮本 邦生	連帯保証人（以下「保証人」という。）を求めることは、市営住宅入居者にとって、大きな負担となっていると同時に、家賃回収に役だってはいない。また、この制度は公営住宅法の趣旨に反している。については、当該条例を改正し、保証人を不要とすることを請願する。	●生活環境委員会 ≪採択≫ ○「公営住宅に限らず、連帯保証人制度自体に、その必要性の議論が始まっている。全国に先駆けて大竹市が廃止したらどうか。」 ≪不採択≫ ○「『保証人に迷惑をかけられない』という抑止力にもなるため廃止は難しいと思うが、現行制度における所得要件や人数などの課題を精査して、よりよい制度となるよう検討してほしい。」  【不採択】	【不採択】

本 会 議	特 別 委 員 会	常 任 委 員 会	本 会 議
6 月 26 日	6 月 19 日	6 月 14 日	6 月 12 日
(月)	(月)	(水)	(月)
			(予備日)
			6月13日(火)

## 6月議会日程(予定)

市議会では予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議を行います。

本会議、委員会とも傍聴できますので、議会がどのように運営されているか傍聴してみませんか。

## 議云を

## 傍聴しませんか



# 議会報告会のご案内

大竹市議会では、議員が地域にお伺いして議会活動を直接報告し、市民の皆さまとの意見交換を行う議会報告会を開催いたします。

以下の日程で行いますのでご都合のよい会場へお越しください。多くの皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

## 1. 開催日程と会場

日 程	時 間	会 場	担当班
5月16日(火)	19:00~20:30	サントピア(2階会議室)	A 班
		エスポワールおおたけ(大竹会館 2階中集会室)	B 班
		安条集会所	C 班
5月18日(木)	19:00~20:30	玖波公民館(2階研修室)	A 班
		黒川集会所(2階大会議室)	B 班
		総合市民会館(2階第1研修室)	C 班
5月20日(土)	14:00~15:30	松ヶ原集会所	A 班
	18:30~20:00	農林振興センター	B 班
		阿多田島漁協(3階大集会室)	C 班

★ 議長(児玉朋也)は、特定の班に所属せず、各日ともいずれかの会場に参加します。

★ 議員が3班に分かれ、各地域にお伺いいたします。

**A**  
班

班 長 和田 芳 弘  
副班長 北地 範 久  
細川 雅 子  
寺岡 公 章  
田中 実 穂

**B**  
班

班 長 日 域 究  
副班長 網谷 芳 孝  
賀屋 幸 治  
西村 一 啓  
山本 孝 三

**C**  
班

班 長 山崎 年 一  
副班長 藤井 馨  
末広 和 基  
大井 涉

## 2. 議会報告会の内容(予定)

- 平成29年度予算議案 審議報告(抜粋)
- 平成29年3月定例会議案 審議報告(抜粋)
- 意見交換会

## 3. 問い合わせ先

大竹市議会事務局 TEL (0827) 59-2183



第16回のインタビューは、「大竹川柳会」の会長 弘兼秀子さんです。



第16回 スマイル インタビュー



大竹川柳会について教えてください。

大竹市内4カ所に教室があり、会員は35名です。4月のお花見句会と11月の大竹市文化祭では合同で行っています。



4月10日開催の句会

市内の小学校では川柳が盛んですね。大竹、玖波、栗谷小学校で現在教えていますので、よく「うちの孫が川柳で入選しました」「先生!!賞をもらったよ。」と声をかけていただきます。子ども達はとても楽しんで川柳を作っていますし、大勢の子が沢山受賞しています。

**川柳の良さはなんでしょうか。**  
川柳は俳句と違って人間のことを詠むものなので、実感したこと、経験したこと、思ったことなどをそのまま受け止めて書くものです。

嫌なことがあっても句を

作り言葉にすることで救われることも多くあると思います。「ごめんねと言われてかえすいいんだよ」という子どもの句があります。この子は作ったことで勇気をだして謝る大切さに気付いたと思います。

**会長が心に残っている句を教えてください。**

秋山清紫 大竹川柳会の前会長の句で「明日の日を信じて明日の米をこく」ですね。希望のある小さな幸せが生き生きと描かれている句です。

中国新聞柳壇や全日本川柳大会ジュニアの選者など多くの選者をされており大変忙しいでしょうが、これからの活躍も応援しています。



句会の様子

発行・平成29年5月1日 大竹市議会 広島県大竹市小方二丁目11-1

Tel 082715912183

あとがき

予算が成立し人事異動も発せられ、大竹市役所も新しい年度が始まりました。議会事務局も局長の退職で入れ替わり、紅一点の新しい体制が出来上がりました。年4回市民の皆さまにお届けしている議会だよりですが、毎号お読み頂いていますでしょうか。

します。議会の報告に加え市民の皆さまとの意見交換の時間も予定しています。

会場に足を運んで下さった皆さまにとつて、よりわかりやすい議会報告会にしたいと考えています。

三度目の報告会へ、是非お越しください。お待ちしております。

議会は、市民の付託を受けた定数16名の、それぞれ異なった価値観を持つ議員集団で構成されています。そのため議会だよりの編集においても、お互いに牽制してしまう面があり、一般質問において、質問議員の名前さえ載せない時代も過去にはありました。

一方で、読者である市民の皆さまから見れば、どの議員が何を発言したのかについて、当然関心をお持ちだと思います。今は、市民の皆さまの意に添うよう、一般質問をした議員の顔写真を載せるなど、以前に比べれば議員個人を打ち出すようになってきました。

さて、今月は「議会報告会」を開催

広報広聴特別委員

委員長  
副委員長

- 山崎 年一
- 和田 芳弘
- 末広 和基
- 賀屋 幸治
- 北地 一久
- 西村 啓久
- 日域 一久

市議会だよりは市のホームページにも掲載しています。